

広報



ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場秘書課編集
電話(018876)代 2100番
印刷所 潮 東 印刷所
電話(018876) 2430番
一部 5円 郵便番号 018-17
毎月 1日・15日発行

子どもたちは馬にふれるやらのぞくやら
子どもの雪まつりで



大切にしたい動物を愛する心

— コンピューター時代に —

おあげします

馬そりに群がる子どもたち

二月十七日の子どもの雪まつりで最も人気があったのは、なんと言っても馬そりである。当日、馬が到着する前から、動かぬ馬そりに満員。その中にはまぎれもなく大人もまじっていたのに驚いた。そしてスピードもなく特別に乗り心地がよいわけでもない馬そりに子どもたちを魅きつけるものはないのであろうか。子どもたちは珍らしさが大人は懐かしさが大きなウエイトを占めるだろうが、それより大きなものは馬の存在だろう。

生活を支えた動力源

昔の農家に欠かせないのは、馬や牛のような家畜であった。農耕用動力として重要な役割を果たす家畜たちは、家族同様の扱いを受けて、母屋の一角に人様より大きな部屋を与えられ、飼いやの献立もいろいろ手を変え品を変えてみがきあげたものである。

農家の若者たちは、朝な夕な馬を引き出しては、土煙りをあげてかけくらべに熱をあげたものだ。

この町には木材運搬専門の馬車も多かったそれが十台もそろつたとやはり壮観であった。馬車の上に寝込んでしまふ。舗装してない砂利道の振動は激しく、何かのはずみに道路に落ちても眠ってしまった。馬は馬でわが寝ぐらに直行、馬は帰ってきたが、主人が帰ってこない。こんな例は枚挙に事欠かなかった。

家畜が姿を消してから

それが次第に、馬から牛に、牛から農業機械に移行が始まったのは昭和三十年ころからで、馬車の姿も自動車の影におしやられるようになった。今、この町で馬はゼロを記録している。生活の中から家畜が姿を消してからの心理状態がどのような変化をたどったのかは知るすべもないが、トラクターとか、コンバインに対する心理とは別に、愛着を持っていた手の中のものをつたえ、一抹の淋しさは心のどこかにもついているはずである。

現代の子たちには家畜という言葉におよそ縁がなくなっている。動物と接する機会も、生活をかけて接しざるを得なかった当時と比べてほとんどないと言つてもよい。

コンピューター時代ではあるが、動物を愛する心だけは失いたくないものだ。その意味で雪まつりの企画は子どもたちによい機会を与えてくれている。

選挙特報

五城目町選挙管理委員会

昭和五十五年二月二十六日
電話 (役場) 二二〇〇
(臨時(直通)) 四三〇三

このたびの選挙は、私たちのもつとも身近な選挙であります。

この選挙の意義を十分理解し、明るく正しい選挙を実現することが
住みたくなる、くらしよい、魅力ある町づくりにつながると思います。

○告示ならびに投票、開票は、次のとおりです。

告示日 三月十二日

投票日 三月十九日
(午前七時から午後六時まで)

選挙会 三月十九日(開票)
(午後七時から)

ただし、閉じる時刻を繰り上げる投票所
は次のとおりです。

投票区	投票所	投票区	投票所
五城目第一投票区	築地町児童館	富津内第一投票区	秋田末広繊維株式会社社会議室
五城目第二投票区	五城目町役場第三会議室	富津内第二投票区	富津内地区 コミュニティセンター集会所
五城目第三投票区	五城目幼稚園遊戯室	富津内第三投票区	富津内中学校理科室
五城目第四投票区	五城目町公民館 馬川分館会議室	富津内第四投票区	北北口公民館
五城目第五投票区	南秋田郡製材協会会議室	内川第一投票区	湯ノ又公民館
五城目第六投票区	上樋口公民館	内川第二投票区	内川児童館
馬場目第一投票区	町村会館	内川第三投票区	小倉公会堂
馬場目第二投票区	中村林業集会所 (中村公民館)	大川第一投票区	農村環境改善センター 多目的ホール
馬場目第三投票区	恋地公民館	大川第二投票区	西野公民館
馬場目第四投票区	杉沢公民館	大川第三投票区	谷地中公民館
馬場目第五投票区	金沢喜市宅(落合)	面潟投票区	森山公民館

この選挙における投票所は下記のとおりです。

五城目町議会議員一般選挙が執行されます

立候補届出について

立候補届出は、三月十二日から三月十三日までの二日間、毎日午前八時三十分から午後五時まで受け付けますから、候補者になろうとする方は、この期間中に届出てください。

不在者投票について

不在投票は、選挙の当日正当な理由によって投票所にもむいて投票することができない選挙人のために、投票日の前にかじめ投票する方法です。

次の場合は不在投票ができます

①選挙の当日、選挙人がその属する投票区域内外において職務又は業務に従事中である場合。
②選挙人が、やむを得ない用務又は事故のためその属する投票区のある市町村の区域外旅行中又は、滞在中である場合。

③選挙人が、疾病、妊娠、老衰、不具若しくは産じよくにあるため歩行が著しく困難である場合、又は監獄、少年院若しくは婦人補導院に収容中である場合。
④疾病、負傷、妊娠、不具などの場合、自宅において不在投票はできないことになっております。

※不在投票する方は、印かんを持参してください。

不在投票は、選挙期日の告示の日(三月十二日)から投票日の前日(三月十八日)までの間に行われます。なお、不在者投票用紙等の請求は、告示日の前もできます。このほか不明な点があったときは、選挙管理委員会に問い合せてください。

有権者の資格等について

このたびの選挙に使用する選挙人名簿は、昭和五十五年三月十日現在において調製した選挙時登録と、それ以前に登録調製した選挙人名簿で行われることになります。

※住所要件は、三月十日まで三カ月間継続して住所を有した者
(昭和五十四年十二月十日以前に住民基本台帳に登録したもの。)

※年齢要件は、三月十九日現在で満二十才に達するもの。
(昭和三十五年三月二十日以前出生者)

入場券の配付について

入場券は、近日中町政協力員を通じて配付いたします。

町内転居者については、住民基本台帳に基いて処理しましたが、二月一日以降のものは従前の住所地に配付されます。もし配付されない方は、ただちに選挙管理委員会事務局にご連絡ください。

開票の参観について

五城目町開票区の選挙に限り開票を参観することが出来ることになっておりますが、開票所が狭いため候補者につき二人に制限いたします。

その他の他

移動した時点(転出)で、五城目町での選挙権はなくなります。

※学生、生徒の住所の認定について

勉学のための寮、下宿などに居住する者の住所は、その寮、下宿などが家族の居住地に近接する地にあり、休暇以外にもしばしば帰宅する必要があるなど特段の事情のある場合を除き、居住する寮、下宿などの所在地にあります。
(したがって、入場券が配付されても右の場合は投票できません。)

解説「選挙制度」

③

どんな方法でも

署名運動は禁じられる

◎署名運動禁止

—自由意志の公正を守る

選挙に関連した署名運動は、公職選挙法違反として直ちに処罰の対象となる。

「〇〇候補を推薦する」はもとより「△△氏を激励する」ことだけを趣旨とした署名であっても、実態からみて特定の候補者への投票をお願いする意味のものであれば、すべて禁止される。反対に特定の「だれだれ」には投票しないという趣旨の署名を集めることもできない。

禁止の理由は、投票を無理強いしたり署名した本人が、拘束され

て自由意思による公正な投票が守られなくなる恐れがあるからである。

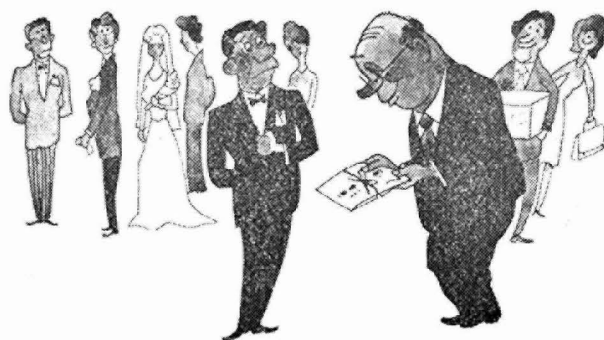
署名集めの方法も街頭で署名を求めるのはもちろん、署名簿を回覧する場合など、どんな方法でもだめである。ただし、選挙運動期間中であっても、選挙に関係のない署名運動を行うことは差し支えないが、直接請求のための署名を求めることは、一定期間禁止されている。

◎うぐいす嬢

—五十三年から報酬認められる—

選挙区からの陳情者などに 食事や飲物を
だしたり おみやげをあげたりすること

「〇〇をよろしく願います」選挙宣伝カーから黄色い声で呼びかける女性を「うぐいす嬢」と呼んでいるが、各候補者にとっては選挙民との「接点」として、またイメージ選挙の時代とあって美声の持主として引張りだこ。このうぐいす嬢、五十三年六月法が改正されて報酬の支給が認められることになった。これまでも高給を出しても、その道のプロを雇うのが常識となっていたようだが、五十三年一月、最高裁が「うぐいす嬢への報酬は買収」という判決を



結婚式のときに お祝いの
お金や品物をおくること

したことから、各党が一致立法改正を進めた。

一日四千五百円以内

「うぐいす嬢」とは、公選法上は「もっぱら車上または船舶上における選挙運動のために使用する者」。つまり、車や船の上から連呼行為などの選挙運動をする人。報酬額は一日四千五百円以内、しかし、美声を確保するため実態は法に定められた限度額を超えているとか。

◎確認団体

政党、政治団体の活動は一般的には自由だが、選挙期間中は一定の制約を受ける。政談演説会など特定の政治活動の自由を守り、選挙を政党本位にしていくなために、公選法では政党、政治団体が確認団体として認められれば、禁止される特定の政治活動を一定の規則の範囲内で行うことを認めている

確認団体とは、全国を通じて二十五人以上の所属候補者を持つ政党政治団体で、自治大臣から確認者の交付を受けたもの。確認団体となれば、総選挙では、

- ①政談演説会。
- ②街頭政談演説
- ③政治活動用自動車の使用。
- ④ポスターの掲示。
- ⑤立て札、立て看板の掲示。
- ⑥ビラの頒布。
- ⑦連呼—などが一定の規制の下に認められている。

しかも、政談演説会などでは、候補者の推薦、支持のための演説もできるし、弁士として自分の選挙演説もできる。

また、選挙報道、評論を掲載した政党、政治団体が発行する機関誌は、

- ①確認団体の本部で直接発行。
- ②自治大臣に届け出た一紙誌などの条件で頒布できる。

◎寄付金の禁止

—名義や時期のいかんを問わず—

候補者または候補者になろうとするもの（公職にある者も含まれる）が、選挙区内の人に対して行う寄付は、名義や時期のいかんを

問わず、また選挙に関するか否にかかわらず、厳しく禁じられている。これら禁じられた寄付には

- ①選挙区の人に中元、歳暮せん別、入学祝いなど贈る。
- ②葬式での香典や花輪、親しい友人などへの結婚祝いとしての祝儀。

- ①政党その他の政治団体または支部。
- ②候補者などの親族—に

対して行う寄付と、政治上の主義や施策普及のために行う講習会など政治教育のための集会でのやむを得ない実費補償は、禁止の対象からはずされている。

しかし、この種の集会でも、任期満了前九十日または解散の翌日から投票日までの間のものは禁じられている。もともと、香典返しや出産祝いのお返しなどは認められるなど例外もあり、実際には寄付と寄付でないものとの区別が難しい面もある。



お祭りのときに お金やお酒などをねだること

- ③国会議員が地元からきた人に、旅費や土産を出したり、飲食のもてなしをする。
- ④選挙区内の祭りや運動会に金銭や酒などを寄付する。
- ⑤名前や写真入りのうちわなどの品物を贈る—なども含まれる。

雪の芸術作品に挑戦するも未完成であった



馬そりに群がる子どもたち

おっさんの荷物を一手に親孝行



みかん拾いはおかあさんといっしょに



東と西のチームに分かれて綱引き

みなさんボクのウィンタースタイルいかが



子どもの雪まつり

青空のもと
楽しい一日



もちつきを珍らしそうに見る子どもたち



横断幕の下を通過して会場へ

第三回子どもの雪まつりは、二月十七日午前十時から雀館運動公園広場で、子どもたちやその父兄約八百人が参加して行われた。昨年は雪不足のため中止となったが、今年はまずまずの積雪で、会場にはかまくらやスロープが作られたほか、馬そりなども用意された。

当日の天候も開会式の時にふぶいたものの、その後は青空が見られるようになり、子どもたちは雪の中で楽しい一日を過ごした。

また甘酒や豚汁がふるまわれたほか、昼食時には広域体育館の五カ所に臼(うす)が持ち込まれ、もちつきが行われた。つきたてのモチはすぐに黄な粉がまぶされ、子どもたちに配られた。



窮屈だっにかまわない



子どもたちに大うけの馬そり



超満員のそりの中



楽しそうな子どもたちの顔



子どもたちにまじって大人も甘酒をいっぱい



町長に手紙の差出人を披露うされて

出稼ぎ者現地激励会

ふるさとの仲間と語り合う

出稼ぎ者現地激励会は二月二十四日午前十一時から東京・五反田の赤のれんを会場に行われ、都内とその周辺で働いている町内の出稼ぎ者八十人以上が参加した。

出稼ぎ者の要望を
とり入れて計画

町が企画する激励会は今年で八回を数え、一昨年は昨年東京・蔵前の国技館で相撲見物をかねて行われていた。今年はお出稼ぎ者の要望をとり入れ、懇親会を中心とした激励会となった。

あいさつに立った加賀谷町長は「町を離れていても、元気で働いているみなさんの顔を見て安心した。留守家族についてはできるだけのことをしていこうと、安心して事故のないようがんばって欲しい」と励ますとともに「来年も激励会を開く考えでいるので、会の内容や方法について意見や希望があったら、役場の係に連絡をお願いする」と述べた。

町議会議員選挙の
棄権防止を呼びかける

また三月十九日が投票日になっ

ている町議会議員の選挙について説明し、棄権することなく全員が貴重な一票を投ずるよう呼びかけた。不在者投票の手続きについては参加者全員が不在者投票宣誓書を配布し、できるだけ早く手続きをするようお願いした。

また関西や北陸などで働いている人たちに對しては、二十五日から三日間、役場職員が各事業所を訪問し、安全就労を確認しながら家族からの手紙を届けた。

中央教育審議委員など
文部省担当官など

生涯教育視察のため来町

国の中央教育審議会では、教育施策の中に生涯教育を今後どのように取りあげていくか、いろいろ審議を進めているが、前例のない施策だけに十年前から秋田県で進めている生涯教育は、全国的に注目されているところである。

中央教育審議会では、生涯教育現地視察のため委員五名と、文部省の久保庭大臣官房企画室長、酒井文部事務官を秋田県に派遣することになった。

視察先には、県内で最も活動が活発だとみられている山本町と、わが五城目町が指定され一行は三月十一日次の陣容で学習グループを視察される。

中央教育審議委員（敬称略）

有光 次郎（日本芸術院長）

菅原 実（作家、内村直也）

竹中は子（日本女子大教授）

外川 正勝（前根岸小学校長）

平塚 益徳（九州大名誉教授）

文部省

久保庭信一（大臣官房企画室長）
酒井 和博（文部事務官）

土地家屋課税台帳の
縦覧について

昭和五十五年固定資産税（都市計画税）の課税対象となる、課税台帳の縦覧を三月一日から二十日まで、役場税務課内で行っています。

この台帳は昭和五十五年一月一日現在で調整したもので、縦覧事項は、（土地）所在地名、地番、地目、地積、課税標準額、登記名義人、納税義務者等、（家屋）地番種類、構造、床面積、建築年等です。

家屋で未届等により、課税台帳に登録されていない建物については過去五年間さかのぼって追帳されます。また住宅用地は二分の一と四分の一に課税標準額が軽減されます。この機会にぜひ町の台帳を一度確認してください。

縦覧時間は平日午前八時三十分から午後五時、土曜日午前八時三十分から正午まで。

▽シリーズ△ 心の病気 ②

からだの病と心の病

秋田大学医学部附属病院

久場 政博

心の病は、精神がゆがんでいる



人とか、性格がかたよっている人になるんだとお考えの方は、いままでの話からそうでないことが十分わかったと思います。しかも、心の病は、内科や外科の病気からいくらでも起ってきます。そのことについて少しのべましょう。

心の病は内科外科を問わず

たとえば、肺炎や高熱時にうわごとをいってもうろうとなるのはわたしたちからみれば心の病が重くなったといえます。さらに、心臓腎臓、肝臓などの病気に心の病が重なることもあります。あるいは極端な貧血やホルモン系統の病気

あるいは、頭部外傷などでも、心の病がともなってくる場合があります。ことに交通事故のあとに後遺症として心の病になる人がいます。

ようです。以上、内科や外科の病気でも心の病になることを話しましたが、さらに、内科そのものでも、原因が心理的なものといわれているものがあります。

子供のぜんそく、大人の胃潰瘍高血圧、習慣性の下痢や便秘などがそれです。このような病気は、普通内科のくすりをもらってのんびりしているわけですが、非常に頑固で慢性になったときは、心身医学的（心理療法）な治療が必要になってきます。

人を見る場合、わたしたちはすぐ、その人のからだを心にかけて考えてしまうのですが、病気のいろいろの出現の仕方をみてみると、そう簡単にはわけられずいつも同時にみえていかなければならぬといえます。

には、心の病が重なりやすいといわれています。この場合は、ゆううつになったり、興奮したり、幻がみえたりしますが、原則として意識ははっきりしないことが多いようです。

ろしい心の病になりました。ひところにくらべ、現在は激減しているといえますが、ときたま患者さんがでます。とくに脳をおかす梅毒は、一〇年近くかかってようやく症状をだすので、知らないうちに病気が進行していることが多い

脳外科的な頭のおでき（脳腫瘍）

五城目町農業振興を語る会 ①

―活力ある地域づくりをめざして―

一月三十一日午後一時三十分から町民センターで、農業委員会（会長佐々木輝雄）主催のもとに、「五城目町農業振興を語る会」が行われた。

これは、厳しい農業をとりまく情勢の中で、農業者はいろいろな問題の対応にせまられているところであるが、必ずしも適正な方向づけがなされておらず現在の状態である。

このときあたり、農業者同志が勇気をもって改善すべきものは

・現状
・農業後継者集団

正しながら、明日の活力ある地域農村の建設をめざして開かれたものである。

当日の始めに全体会議を開き、農業就業改善事業の概要（県農業会議議長佐藤吉郎）など、六人の担当者からそれぞれの制度や対策についての説明があった。

次いで集団別に話し合った概要は次のとおりである。

始めている。

せつかくの日曜日

農作業の機械化にともない、女性にタッチしなくともよい立場の人がある反面、それとは関係なく重労働の分野を受けもっている例も多いのが現状である。

せつかくの日曜日が、農作業にとられるようでは、嫁の来手がいないのではない。

後継者対策をやっているか

町をはじめ関係機関では、このような現状をふまえて、後継者（嫁・婿）対策をやっているのか。

農村をとらえる視点に疑問

農村を経済面だけでとらえずに、そのほか、また、農地の流

動化政策も、行き過ぎた場合どうなるのか問題がある。

・対策

今までのような考え方は

いくら農村の近代化が進み、いろいろな農機具が導入されても、その支払いを農外収入で補なっている状態では、後継者も魅力を感じないのは当然であり、今後は今までのような安易な考えで農業を続けることは難しくなる。

農家としての原点は、現在の農用地を利用していかに暮らしていくにあるのではない。

農協では農家の過剰投資をさけるために、カントリーの建設計画や農機具銀行制度なども取り入れていきたい。

南秋田郡スキー大会

五城目クラブ

健闘空しく二位

―大湯村クラブ五連勝―

二月二十四日午前九時三十分から、恋地国設スキー場で南秋田郡スキー大会が、四クラブ六十五名の選手が参加して行われた。

五連勝をめざす大湯村チームに各クラブがどの程度肉迫するか注目されたが、わずかの差で五城目が二位、八郎湯三位という結果に終わった。

成績は次のとおり

・総合

①大湯村 ②五城目 ③八郎湯

・個人（種目別）

・大回転

・壮年

①五城目	佐々木 照雄
②五城目	伊藤 英紀
③五城目	小玉 忠夫
①八郎湯	一ノ関 真範
②大湯	村上 晴美
③大湯	村 上 博
・青年	
①五城目	小玉 久彦
②井川	藤 一 彦
③八郎湯	齊藤 繁
・壮年	
①五城目	伊佐々 照雄
②大湯	藤 英忠
③五城目	藤 紀一
・成年	
①大湯	古川 晴美
②大湯	戸川 一夫
③大湯	荒川 祥美
・青年	
①大湯	藤 一則
②八郎湯	井原 隆
③八郎湯	菅 義

ちよつと走って 調理の基礎を競う

耳なれない運動会

二月二十四日午前十時から広域体育館で新春クッキング腕自慢室内運動会を行った。

耳なれない運動会だが、これは調理の基礎をゲームの中にとり入れながらその技を競うもので、大会を通して調理への興味と仲間の意識を高めるネライももっていた。

冷静でソツがない年輩者

当日の参加者は八十名ほどで五チームに分れての対戦であった。趣向をこらした入場式で、服装も白の割烹（ほう）着から、いろいろのダイニングスタイルでさつそうとしたものであった。

プログラムの十五種目あり、りんごの皮むき競争でスタート。とうふのさいの目切りは簡単なようだが、他人様と争うとなると、四分の一のとうふがなかなか思うように切れない。一センチ角を要求されたのに、長方形が多くなる。



年輩の方はさすがに冷静でソツがない。

見事なかつらむきに

大きな拍手

日ごろの訓練が

この運動会は、若くて足が速いから勝てるものでもなかった。日ごろの訓練が、技術がそのまま生かされてくるところに意義があった。お互いに学ぶところの多い運動会であったことだろう。注目されなかったCチームが優勝した。

食肉料理コンクール

金賞に小野さん

—全員入賞の快挙—

先ごろ秋田県食肉事業協同組合連合会主催のもとに行われた「ママの自慢の肉料理」コンクールでこの町から参加した五人が全員入賞するという金星をあげた。

このコンクールは、全国食肉事業協同組合連合会大会の県予選を兼ねたもので、一次審査で応募原稿を審査し十名を決定、二次審査では一次審査で入賞した十名により実演、試食コンクールを行い順位を決定したものである。

受賞者と作品名は次のとおり。

・金賞 小野みちこ(浦横町)

レバー入りミートローフ
銀賞 小玉アエ子(西野)
賞金焼き
努力賞 金子ひさ子(西野)
ウインナーの牛肉巻き揚げ
努力賞 千田 カツ(西野)
牛肉のタルタルソースかけ
佳作 齊藤 妙子(矢場崎)
豚肉のアラカルト蒸し
ダンゴスープ添え

家族やグループのチームワークに支



コンクールで入賞したみなさん

二年前の同コンクールでも、本町から三名の上位入賞者を出して審査会場をアツといわせたが、このたびも十人のうち五人も五城目から出場、しかも全員入賞という離れ技をやったの、この町の調理人口の層の厚さと、腕の良さを見事に披露

してくれた。

これは本人の努力もさることながら味好会(町民講座から独立して三年目の先輩十五人の集まり)のチームワークの良さを第一に、おじいさんやおばあさんが子守りなどをして積極的に協力してくれするなど、温かい家族の協力が今回の入賞に大きな支えとなっていたことも確かかなようだ。

三月九日 広域体育館で

全町室内球技冬期大会

・バレー(九人制・家庭)
・バスケット

三月九日(日)広域体育館で、全町室内球技冬期大会が行われる種目は、バレーボール(九人制・家庭)とバスケットボールで、次のような内容で行われるので、各町内から一人でも多く参加して、健康づくりに役立ててくれるように担当課では呼びかけている。

一、期日 三月九日 午前九時

二、場所 広域体育館

三、内容

・バレーボール

・九人制男女混合で女子二名以上含むこと
・家庭男女混合で男子四名、女子四名とする。

・バスケットボール

・日本バスケットボール規則に準ずる。

・十分ハーフ。ハーフタイム三分四、その他

・職場、一般を問わずチームの編成は自由であるが、他町村居住者、学籍にある者は除かれる。ただし、職場にあってはこの限りではない。

五城目町

春休み短期スイミングスクール開講



- ・期 間 3月26日(水)～30日(日)
- ・時 間・定 員
- ① 10:30～11:30 (30名)
- ② 12:30～13:30 (100名)
- ③ 14:00～15:00 (30名)
- ・受 講 料 3,000円
- ・会 場 五城目町屋内温水プール
- ※定員を越えた場合は時間の変更もあります。

- ◇お申し込みは…
申込書に受講料を添えて体育館までお届けください。
- ◇お切りは… 3月12日(水)です。
- ◇申し込み後の取り消しは、300円の手数料をいただきます。
- ◇くわしくは…
秋田アスレティッククラブ
0188-64-0381
または五城目町体育館 4411 まで

主 催

AAC

秋田アスレティッククラブ

五城目町屋内温水プール

後 援

五城目町教育委員会

屋内でもできるゲートボール

ルールは屋外と同じ

ゲートボールは、レクリエーションと体力づくりを兼ねたお年寄り向きのスポーツである。競技は縦二十センチ、横二十五センチのコートで行い、ボールをステックで打って三つのゲートを通し、最後にボールに当て、チームの点数で勝負を争うものである。

五年ほど前から用具をとりそろえ普及に努めてきた。今では老人クラブなどが中心となっており、町内で盛んに競技大会が行われるようになり、技術も向上している。

本町チームは全県大会二連覇の実績があり、競技人口は約五百人とされている。

このゲートボール、一般には屋



ゲートをねらってスティックを振る (2月6日広域体育館で)

外で行うスポーツとして知られているが、屋内でもできるのである。ルールは全く屋外の場合と同じで違うところはボールのかわりに、直径約十センチ高さ約四センチの木製の円盤を使用する点である。

隣接市町村大会で

競技種目にとり入れる

町では一月二十日広域体育館で行われた隣接市町村交歓スポーツ大会で競技種目として屋内ゲートボールを採用している。屋内スポーツ大会にゲートボールをとり入れたのは、県内でもこの大会が初めてであり、関係者の注目を集めた。

二月六日には広域体育館で、町内のお年寄り約百人が参加して、講習会を兼ねた競技大会も行われている。これは町内の愛好者が自主的に開いたもので、老人ホームのみなさんも招待された。参加者の一人は「ルールも要領も外でや

る場合と同じだから、みんなすぐできるようになります」と話している。

指導にあたるのは公民館の職員は「地面の場合は小石などがあつて、なかなか真つすぐに転がらないが、屋内では床なので大きくコースをそれることがなく、またボールに比べて円盤の方が打ちやすいと思う」と話していた。

冬期間のスポーツとしても最適なお年寄りがグループで気軽に参加できるスポーツは限られておりゲートボールはとくにその点で親しみやすいスポーツである。ゲートボールが屋内スポーツとして定着すれば、天候やグラウンド状態の悪い日だけでなく、冬期間の手ごろなスポーツとなる。

町では今後、ゲートボールを屋外だけでなく、屋内スポーツとしてもいろいろな競技大会に積極的に取り入れていく方針である。

県総合卓球大会

千田(五)選手ゆとりの優勝

五一中の五選手が準々決勝へ

県総合卓球大会は、二月十五日から十七日まで、秋田市の県立体育館で行われた。



千田 博幸君

町内からは五卓会、五城目高等

学校、五城目第一中学校が参加したが、中でも十七日に行われた第三部(中学生)男子シングルスで五一中の男子選手が大活躍し、千田博幸選手(野田)は圧倒的な強さで優勝した。

男子シングルスには五一中から八選手が出場し、全選手が四回戦まで勝ち進んだ。五回戦で坂井選手が接戦の末敗れたが、五選手が準々決勝へ進出するというすばら

弓道教室

第五期生募集

弓道教室開講以来満二年目を迎え、このたび四期生(九名)の修了にともない第五期生を新たに募集することになりました。

参加をご希望の方は左記の要領でお申し込みください。

一、募集人数 十名(先着順)

二、申し込み 住所、氏名電話番号を三月十五日まで公民館電話四四一一番へ

三、指導内容(弓道用具設備あり)

・初心者コース
弓の持ち方、引き方などから初め二十八メートル離れた的に当てられるまで十回に分けて指導致します。

・上級者コース
立ち方、座り方などの礼儀作法から初め全日本弓道連盟初段位をとれるようになるまで十回に分けて指導致します。

四、練習 毎週 水曜日 午後五時三十分～七時三十分 広域体育館第二体育室内

五、参加料 二千元 (プリント、道具、体育館料他) ※詳細問合せ：五城目弓道矢場崎クラブ 齊藤(畑町) 三三二一番 永沢(築地町) 三四三〇番 田口(長町) 二二四二番

しい活躍であった。勝ち残った八選手のうち五人までを五一中で占めた準々決勝では、五一中同士の対戦も行われた。千田・一関の五一中同士の対戦は千田選手が勝って準決勝へ進んだが、他の三選手は健闘したにもかかわらず、もう一步のところで敗退した。

初戦から一セットもおとさず勝ち進んだ千田選手は、準決勝、決勝でも相手選手をよせつけず、安定した試合はこびで優勝した。

試合結果は次のとおり(五一中関係分・上段が五一中選手)

▽第三部男子単回戦

千田 2-0 金沢(土崎)	一関 2-0 齊藤(本莊南)
遊佐 0-2 佐々木(本莊南)	坂井 2-0 藤田(大曲)
三村 2-0 小松(大曲)	福嶋 0-2 河合(外旭川)
小玉 2-1 泉(八竜)	小鎌 2-1 岡田(本莊南)

▽同準決勝

千田 2-0 寺邑(大曲)	一関 2-0 進藤(八竜)
坂井 1-2 菅原(天王)	三村 2-1 吉田(天王)
小玉 2-1 佐藤(外旭川)	小鎌 2-0 佐藤(羽城)

▽同五回戦

千田 2-1 寺邑(大曲)	一関 2-1 進藤(八竜)
坂井 1-2 菅原(天王)	三村 2-1 吉田(天王)
小玉 2-1 佐藤(外旭川)	小鎌 2-0 佐藤(羽城)

▽同準々決勝

千田 2-1 寺邑(大曲)	一関 2-1 進藤(八竜)
坂井 1-2 菅原(天王)	三村 2-1 吉田(天王)
小玉 2-1 佐藤(外旭川)	小鎌 2-0 佐藤(羽城)



おしらせ

◎場所 広域体育館

◎対象者

昭和51年4月2日から昭和52年4月1日までの間に生まれた者(BCG接種はツベルクリン反応の結果、陰性となった者が対象となります)

◎BCG接種後の注意

①BCGをした日は風呂に入らないでください。

②BCGをしたところをもんだりこすったり、ひっかいたりしないでください。

③BCGの経過は、接種後三・五週間後にあわづぶくらの赤いふくらみができ、その先が黄味をおびることがあります。その後やがてかさぶたになり、かさぶたが落ちるとあとはいきれになります。赤いふくらみがあるときは、もんだり、こすったりひっかいたりせず、その場所を清潔にしてください。

原爆被爆者の子を

無料で健康診断

財団法人日本公衆衛生協会では原子爆弾被爆者の子に対して、無料で健康診断を行います。

健康診断は次の四病院で行いますが、実施医療機関の診断日時との関係もありますので、受診希望者は事前に五城目保健所(愛三・四・五番)に連絡するようお願いいたします。

◎対象者

両親のどちらかが原子爆弾被爆者である者で六歳以上の者(被爆者である者を除く)

実施機関

秋田赤十字病院(秋田市中通) 中通 病院(秋田市南通) 平鹿総合病院(横手市寿町) 大館市立総合病院(大館市豊町) 実施期間 2月20日、3月20日

町工事指名願いの受付は

3月31日まで

町では、昭和五十五年度の町施工工事参加指名願いを次のとおり受け付けます。申請書用紙は役場建設課にあります。

受付期間 3月1日～3月31日

受付場所 役場建設課

※詳しいことは建設課まで

小学校社会科副読本

「わたしたちの五城目町」

一般にも販売します

町内の各小学校で社会科の副読本として利用している「わたしたちの五城目町」が改版されます。

町ではこの機会に一般の方たちにも販売しますので、希望者は三月末日までに町教育委員会へ申し込んでください。

「わたしたちの五城目町」はA5版の大きさで、町のようす、くらし、仕事、移り変わりなどを約七十ページにわかりやすくまとめたものです。価格は七百円です。

3月6日

献血をお願いします

三月六日午前十時から、献血車が町内四カ所を巡回して献血を呼びかけますので、協力をお願いします。

献血は満十六歳から満六十四歳までの人ならだれでもできます。

一回の献血量は二百ミリリットルです。この量は身体の全血液の約二十分の一で、健康には影響ありません。また、採血前に医師が検診を行います。

献血車の巡回場所と時間は次のとおりです。

▽役場前 前10時～11時30分 後1時～1時40分
▽農協前 前1時～1時40分 後2時～2時40分
▽電々公社前 後2時～2時40分 後3時～3時40分
▽保健所前 後3時～3時40分

献血者に県と町から記念品を差しあげます。

手帳を持っている方は当日持参してください。

保育園(所)修了式の日程

保育園と保育所の修了式を次の日程で行います。

▽3月17日

馬場目保育所 午前10時

▽3月21日

内川保育所 午前10時

富津内保育所 午前11時

▽3月22日

杉沢保育所 午前10時

大川保育所 午前10時

五城目保育園 午前10時

善意銀行預託者

二月九日

五万円 小倉 佐藤 一

(亡父孫一様の香典返しとして)

二月十八日

三万円 古川町 久保市勝雄

(亡母チャ様の香典返しとして)

二月十九日

五万円 中村 児玉 順

(亡父孫左衛門様の香典返しとして)

二月二十日

二万円 浅見内 松橋 功

(亡父長蔵様の香典返しとして)

老人ホームによせられた善意

紙おしめ、おしめ、雑布

二月二十日

聖霊高校五城目地区学友会

愛のおむつありがとう

一四〇一枚の善意

このたび、寝たきり老人や病床に長く寝ている人のために、各地区の婦人会のみなさんから沢山の愛のおむつが寄せられました。いつものことながら関係者からは大変感謝されています。

内訳次のとおり

富津内東婦人会 一四一枚

落合支部 三七枚

脇乙支部 四一枚

北々口支部 三三枚

高千支部 三〇枚

富津内西婦人会 一七五枚

下山内支部 三六枚

上山内支部 五一枚

富田支部 八八枚

内川婦人会 一七六枚

黒土支部 一八枚

湯ノ又支部 四四枚

浅見内支部 七五枚

小川口支部 一二枚

小倉支部 一七枚

大川婦人会 二二三枚

大川一、三、四区 八二枚

下樋口支部 一〇枚

石崎支部 一六枚

西野支部 三六枚

四ツ屋支部 二四枚

谷地中支部 四五枚

五城目地区婦人会 三三四枚

馬場目地区婦人会 一四四枚

杉沢地区婦人会 八四枚

街を自然を美しく
吸いからけ捨てるやめよう
Smokin' Clean
愛のおむつありがとう
一四〇一枚の善意